

# 山川永太郎

## (尚美学園大学 15 期生 / トランペット専攻)

### プロフィール

青森県青森市出身。9歳よりトランペットを始める。

青森商業高等学校、尚美学園大学音楽表現学科卒業。桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程修了。

第38回青森県新人演奏会、第34回ヤマハ管楽器新人演奏会金管部門に出演。「小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト XVI」、「セイジ・オザワ松本フェスティバル:子供のための音楽会」、PMF 2021 に参加。

第24回コンセール・マロニエ 21 金管部門第3位。

日演連主催のオーディションに合格し、アルチュニアンズのトランペット協奏曲を仙台フィルハーモニー管弦楽団と共演。

トランペットを内藤知裕、長谷川潤、ヒロ・ノグチ、亀島克敏の各氏に、室内楽を後藤文夫氏に師事。

新日本フィルハーモニー交響楽団 首席トランペット奏者。劇団四季「アナと雪の女王」オーケストラメンバー。



尚美学園で学んだ4年間はとても濃く、楽しい時間でした。私はトランペットを始めたのは9歳からですが、トランペットを習い始めたのは大学に入ってからです。そんな私にも師匠は手取り足取り優しく指導してくださいました。

大学時代はオーケストラと吹奏楽の授業が特に楽しく、同じ曜日に両方こなさなければいけないのは大変でしたが、それ以上にとっても充実していたと思います。

元々練習する事が好きだったので、長時間の練習も全く苦ではなかったですし、ほとんど遊びに行くこともなく、とにかく練習と音楽の勉強に励んでおりました。

卒業後は桐朋のオーケストラアカデミーに進学しました。学生時代からずっとオーケストラプレイヤーになる事を目標に練習に取り組んでいましたが、何度もオーディションに落ち続け、やはりプロのオーケストラに入団するのは一握りの人間だけだと痛感する日々が続いておりました。

コロナ禍で仕事がなくなってしまった時は、楽器を辞めてしまった方がいいのではと思った時もありましたが、仕事がないという状況を逆手に取り、普段なかなか手をつけられないエチュードなどを練習して、いつ仕事が戻ってきても大丈夫なように備えていました。自粛が明けてからは、幸いにも全国の色々なオーケストラに客演させて頂き、沢山プロの現場を経験させていただく事ができました。

2022年の12月にオーディション・試用期間を経て新日本フィルハーモニー交響楽団に首席トランペット奏者として入団致しました。オーケストラの首席奏者というのはそのオーケストラの顔でもありますから、もちろん相当なプレッシャーが掛かりますが、それ以上に沢山の方からの賞賛もありますので、とてもやり甲斐を感じております。

最後になりますが、現在プロのプレイヤーを目指している在學生、これからプロを目指して入学してくる皆さん、大学の4年間は本当にあっという間です。お互いを高め合えるライバルと切磋琢磨し、初志貫徹の気持ちを忘れずに頑張ってください。1人でも多く尚美からプロのオーケストラの世界に来てくれる人が増える事を願っております。